



帯中卒業式に参列しました

今日7日(金)は帯中卒業式に参加しました。今年度は335人の生徒が卒業しました。思い返すと私が帯西に教頭として赴任した年の生徒たちが卒業することになります。一人一人卒業証書を手にする姿を見ると、そこには成長した子供たちの姿がありました。在校生も立派な態度で卒業式に臨んでいました。卒業式は、学校行事の式の中で、もっとも厳粛に行われます。その厳粛な空気の中で、涙ぐむ卒業生の姿からは、感謝の思いが伝わり、寒い体育館でしたが、心が温かくなるような素晴らしい式となりました。



中学校を卒業するということは同時に、義務教育を修了するということであり、社会を創っていく大人に加わる準備が整ったということです。また、多くの卒業生は、高校などへ進学する社会の一員として、自分の能力を一層磨くために学んでくれることでしょう。そういうこれからの未来を築こうとする姿が、卒業証書を受け取っている卒業生の姿から伝わってきました。

卒業生の答辞に「綺麗な花もいいけれど、傷をも誇れる花になろう」という好きな歌詞の一節を交えながら、卒業への思いを込めた内容は心打たれるものでした。その後、卒業生全員がひな壇に並んで、合唱してくれた姿は圧巻でした。

帯中校区の子供たちが、自分の未来に向かって、自分の足で歩き出そうとしている姿を目に焼き付けて、会場を後にしました。次はいよいよ帯西の卒業式です。

スギ花粉に注意!

暖かいと思うと寒い日があり、まさに三寒四温と言うのにふさわしい季節です。今は、季節の変わり目で日々の気温や体感の変化が大きい頃と言えます。同時に、朝晩と昼間の寒暖差も大きくなってくる時期です。

このただでさえ体調管理が難しい時期に、スギ花粉のピークを迎えようとしています。以前は「子供は花粉症になりにくい」と考えられていましたが、今月山梨大学が発表したデータが驚きの内容でした。8歳の子供約1500人を調べたところ、スギ花粉のアレルギーを持つ子供が68.6%もいたそうです。そして、約6割の子供が花粉症の症状によって、日常生活に影響を受けていることがわかりました。

花粉症への備えは、マスクや眼鏡をつける、飛散量の多い日は外出や洗濯物を外に干すのを避ける、帰宅後に手洗いや洗顔をする、などが効果的とされています。

さらに、「舌下免疫療法」という治療薬を舌の下に置き、定められた時間保持することで体を原因物質に慣らして症状が出ないようにする治療法もあります。これは5歳から受診できるようになっています。

今シーズンは、スギ花粉の飛散量が多くなると予想されています。昨年夏が暑かったので、平年の倍以上とも言われています。生活面・学習面への影響が出ないようにしたいものです。

